

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-107	Year Month Day Time 2008 年 5 月 4 日 10 : 30
場所 Place	能代市総合体育館



チームA		チームB
延岡学園	(20 1st 15 14 2nd 11 28 3rd 9 19 4th 8 OT)	春日部
81 ○		43 ●

主審:Referee
渡邊 亮 福島県
副審:Umpire
升屋 章 秋田県

テーブル・オフィシャル:Table officials
能代高等学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	内村 祥也	CAP	6	0	3	0	1	4		摩庭 大河	CAP	-	-	-	-	0
5	×	ジャッタ ジャーラ		25	0	11	3	1	5	×	清水 隆亮		6	0	3	0	4
6	×	和田 力也		7	1	2	0	1	6	×	新田 華武伊		4	0	1	2	2
7	×	永吉 佑也		12	0	4	4	1	7	×	藤森 康平		9	0	4	1	0
8	×	川元 崇史		8	2	1	0	3	8	/	川崎 裕介		8	1	2	1	1
9	/	横瀬 孝樹		6	0	3	0	2	9	/	富澤 佑也		0	0	0	0	0
10	/	曾根田 夏樹		8	2	1	0	0	10	/	境 一樹		0	0	0	0	0
11	/	湯地 寛文		2	0	1	0	0	11		高葉 龍		-	-	-	-	0
12	/	大坪 将太		2	0	1	0	1	12	/	池澤 舜		2	0	1	0	1
13	/	長谷場 祐二		2	0	1	0	0	13	/	渡辺 隼人		0	0	0	0	0
14	/	中村 友哉		0	0	0	0	0	14	/	小原 佑真		0	0	0	0	0
15	/	エリマン プイ		3	0	1	1	1	15		田中 颯		-	-	-	-	0
16	/	宇治橋 眞悟		0	0	0	0	1	16	×	倉林 紀和		11	1	4	0	1
17	/	中小路 拓		0	0	0	0	0	17	×	時野谷 勝幸		3	1	0	0	0
18	/	西口 直哉		0	0	0	0	1	18	/	秋元 政彦		0	0	0	0	0
コーチ		北郷 純一郎							コーチ		伊澤 暁						
アコチ		内村 昌弘							アコチ		山岸 率						
		合計		81	5	29	8	13			合計		43	3	15	4	9

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

試合開始早々から延岡学園は#5ジャーラ、#7永吉らの強力なインサイド陣がパワープレイを連続、12-4と先行する。ディフェンスではマンツーマンを基本としながら機を見て1-2-1-1ゾーンプレスを仕掛けるなど、積極的なゲーム展開を見せる。序盤苦しんだ春日部だが、ベースラインからのスローインを上手く得点に結びつけると徐々に足が動き始め、粘り強いチームディフェンスで中盤からは延岡のインサイドを封じることが成功する。16-15と1点差まで詰め寄った春日部だが、終盤にミスが続き、20-15で第1Qが終了。

第2Qは延岡学園#5ジャーラの豪快なダンクショットで幕を開ける。勢いに乗りたいた延岡だったが、春日部はこぼれ球によく反応しディフェンスリバウンドをしっかりと確保、しぶとく食い下がる。春日部は#16倉林、#17時野谷らの小柄なガード陣が奮闘し、3Pやカットインで得点、34-26とロースコアの展開で前半を終える。

第3Qに入ると、第2Qは抑えられていた延岡#5ジャーラは目が覚めたようにポストプレイで連続得点する。ディフェンスがインサイドに収縮するとすかさず#6和田、#8川元が3Pを沈め、試合の流れは一気に延岡学園に傾く。疲れの見える春日部はオフェンスの足も止まり始め、瞬く間にリードを広げられてしまう。62-35と延岡学園が大きくリードを奪って第3Q終了。

第4Qに入ると延岡学園は#12大坪、#13長谷場、#15プイらの下級生を起用、はつらつとしたプレイを見せる。春日部もこの試合好調の#16倉林が果敢なプレイを見せるが、いったん延岡に傾いた試合の流れは変わらず、81-43と延岡学園が更にリードを広げて試合終了。

地力に勝る延岡学園が粘る春日部を退け、全勝を守った。